



田子ヶ沢地区では

名産のセリ洗いで活気づく

田子ヶ沢ではセリの出荷が真っ盛りで、綴子川はセリを洗う主婦たちで活気に満ちていました。“田子ヶ沢セリ”は歯ざわりと風味がよいので、古くからこの地方の名産として喜ばれていましたが、現在は転作により栽培面積も三ヘクタールに拡大。冷たく良質の水できれいに洗われたセリは、ほとんどが秋田の市場に出荷され高値で取り引きされるそうで、雪の舞う12月まで作業が続けられます。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

10月30日現在	(前月比)
総人口 25,275人	(4人減)
出生 19人	転入 54人
死亡 19人	転出 58人
男 12,323人	(9人減)
女 12,952人	(5人増)
世帯数 7,299世帯	(8世帯増)

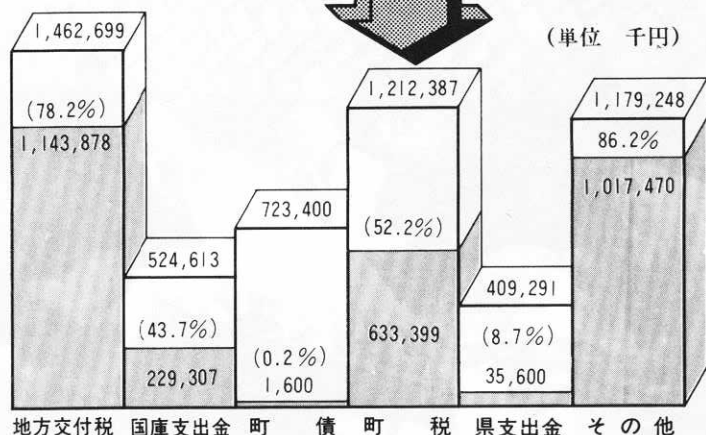
財政白書

昭和58年度 一般会計

58年度一般会計

予算額	55億1163万8千円
収入済額	30億6125万4千円
収入率	55.5%

町民税	5億3199万円 円
固定資産税	5億0926万1千円
軽自動車税	1310万9千円
木材引取税	133万7千円
計	10億5570万3千円 (ほかは間接税)
1世帯当り	144,795円
1人当り	41,762円



上半期(四～九月)の

まちの台所は

地方自治法と町条例に基づいて、昭和五八年度上半期(四月～九月)における町財政のあらましについて報告いたします。これは、みなさんの生活に密着したつながりをもつ町の家計簿です。もう一度、町の予算や財政がどうなっているか考えてみましょう。

地方交付税 国庫支出金 町債 町税 県支出金 その他

■17日(月) 大阪で行われたスベシヤルオリンピックに吉野学園から五選手が出場。メタル八個は立派なもの。併せて園生の社会復帰も願う。

■20日(木) 東北自動車道安代・鹿角八幡平間が開通。高速交通体系の一環として秋田県にはじめて自動車道路が延長された。鹿角八幡平インターから盛岡まで所要時間大凡一時間。更に北上を続け明秋は十和田インター開通。然し県内を含め全線開通は昭和六一年頃の予定。



町長日記

出川 禮一

10月17日～31日

■21日(金) 食肉センターの獣魂祭が行われた。同センターで一年間にと殺された頭数は、豚換算(牛、馬の大動物は一頭につき豚三頭で計算)で一萬五千七百頭余りである。

■24日(月) 北秋田郡、鹿角郡市、大館市遺族地方大会、全国高校総体実行委員会常任委員会。大館北秋公共事業促進協議会開かれる。

■26日(水) 27日(金) 議会常任委員長等研修で、宮城県鳴子町の高友林業を視察。当林業については、町の財産区委員、森林組合等で視察済みである。

■31日(月) 秋田市で県都市計画協会役員会及び総会があり出席。

あるが、東北における民有林育成の大家として名声高いものがあります。樹齢百年生から三十年生までを対象に説明を受けながら現場を踏破した。土地条件、気象等杉の生育に適した地帯とはいえ、初期管理の徹底と間伐を主体とした育林は標準を可成り上廻る単位当たりの蓄材と察した。当町も民有林面積一萬ヘクタール余りで五〇%は人工林であるが、植栽後、日の浅い幼齢林が多いので枝打ちと、大胆な間伐を指導したい。また、公

上半期（4～9月）に完了した主な事業は

鷹巣小学校改築事業（59年度分）----- 6億3075万5千円

鷹巣小学校調理場新築事業 ----- 2780万円

鷹巣小学校構内排水、グランド造成事業 3609万3千円

摩当簡易水道事業〈59年度分〉----- 1100万円

町営住宅建設事業〈新田中〉----- 2394万円

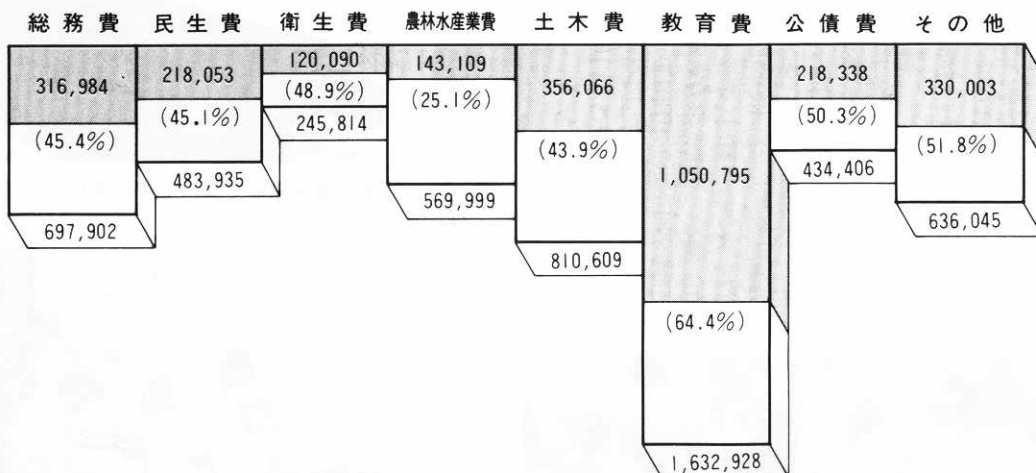
黒森橋改良工事費 ----- 8536万8千円

小田、深沢、吉ヶ沢テレビ共同受信施設改修
----- 328万7千円

患者輸送車 ----- 106万円

道路維持改良費 ----- 1億0787万6千円

住みよい町づくりのため
税金は早めに納めましょう



58年度
一般会計

予算額
支出済額
執行率

55億1163万8千円
27億5348万8千円
50.0%

秋の全国火災予防運動

11月26日～12月2日



点検は防火のはじまり

しめくくり

町長の手紙で

あなたの声を町政に

町では、みなさんの声を町政に反映させる、公聴活動の一環として十一月十五日から十二月三十一日まで「町長の手紙」を行います。

みなさんが日頃、考えている意見や要望を町長に直接届けるもので、住民参加の町政を進めるため毎年実施しております、大きな成果をあげています。

手紙の用紙（緑色）は、本紙に折り込みしておりますので、切手をはらないで、お近くの郵便ポストにおいれください。

手紙はそれぞれ検討のうえ、町政に反映させていただきますが、質問については個人ごとに回答いたします。また多くの町民に関係があると思われることについては、広報に掲載、回答いたします。

この町をより住みよく、より豊かに発展させるため、たくさんの方の手紙をお待ちしています。

なお、広報へ折り込むほか、役場町民ホールにも置いてあります。

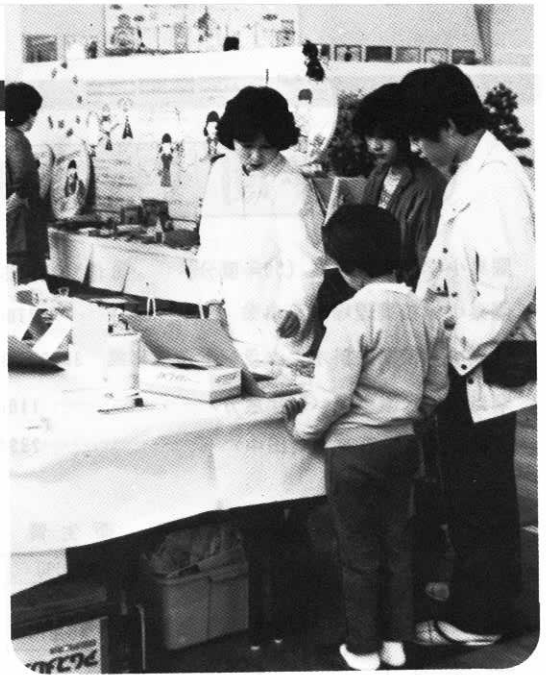
十二月三十一日差し出しまで切手は不要です。

町の文化祭

ことしから分館で開催

「町づくりと文化を考える」をテーマに、十五回目の文化祭が十一月三日から六日まで四日間、鷹巣中央公民館、分館（旧鷹巣小学校）で開催されました。二日をのぞいては比較的恵まれた天候となり、邦雅祭や音楽祭、郷土芸能の催し物や、公民館講座の作品、町勢展、消費生活展などに多くの町民が訪れていました。

分館は、ことしはじめて会場となりましたが、展示は体育館で行われたので見やすいと好評でした。



▲消費生活展では、有害色素について係員を説明を受けていました



▲町勢展では、合併以降発刊された広報や要覧も展示、多くの人が目を通していました



▲ふるさと食堂はいつも満員の盛況ぶり



▲児童公園で行われた郷土芸能

お知らせ

駐車場の営業は
届出が必要

都市計画区域内で駐車場を営業する場合には、駐車場法の規定に基づいて、管理規定を定め県知事に対し設置の届出をすることになっています。

また、設置する駐車場の設備や構造は、法律で定める基準に適合していることが必要です。くわしいことについては、北秋田土木事務所用地課（☎二一三一一）へおたずねください。

体の不自由な方に
職業訓練を

宮城身体障害者職業訓練校では、身体に障害のある方々に、社会で活躍できるよう訓練生を募集しております。

▼応募資格―義務教育修了者または同等以上の学力を有すると認められる人。盲人、伝染性疾患、精神疾患、てんかん性疾患のない人、および日常生活に介護を要しない人。

▽訓練期間―五九年四月上旬から一年間

▽願書の受付締切―中学、高校卒業見込者は十一月一五日まで、その他は来年の一月一〇日まで。

いきづく

また、各会場とも若妻グループや生活改善実行グループが食堂を開設し「タマコもち」など特徴的なメニューで喜ばれていました。
このほか史跡めぐりや史談会なども開催され、文化祭行事を盛り上げていました。

▲郷土資料室には昔を再現する古いものばかり



▶邦雅祭は日舞や謡曲、詩吟などが演じられた



▲幼児の絵に足を止める人が多かった

◀アマチュア無線は子供たちの人気のもと

停電のおしらせ

十一月の作業停電は、次の地区です。

- ▽15日〓大向、佐助岱地区(午前九時〓正午) ▽24日〓下舟木地区(午前九時〓正午) ▽26日〓田中・新田中地区(午前八時半〓正午) ▽28日〓舟見町地区(午前九時〓午後一時) ▽29日〓小森地区(午前九時〓正午)

農地の土壌診断を

鷹巣農業改良普及所では、土壌分析(診断)を冬期間の十二月から二月にかけて行う予定です。

分析を要する農地は次によりお申し込みください。

▽申し込み期日〓五八年十一月末日まで。

▽申し込み先〓鷹巣農業改良普及所(☎二一八三五)

▽土壌搬入の注意

①採取した土壌は乾燥(カゲ干し)させて、ビニール袋等に入れて搬入してください。

②住所、氏名、栽培作物名、層位、分析明目、改良目的等を明確に記入してください。

※診断結果は三月末日までにお知らせする予定です。

▽願書提出先〓大館公共職業安定所鷹巣出張所(☎二一二四〇)

地方自治32年の功績が評価され

町長・出川禮一氏に藍受褒章



出川禮一町長は、長年地方自治に貢献した功績が認められ、藍受褒章を受章しました。

出川町長は、昭和十五年鷹巣農林学校を卒業後、満州に渡り生活必需品会社に勤務。二〇年二月に兵役として入営。戦後シベリア抑留を経て三三年六月に復員。以来農業に従事。

二六年四月に二十五歳の若さで綴子村議会議員に初当選、三一年九月には合併にともない鷹巣町議会議員として四二年三月まで会期十六年議会活動が続きました。

四二年四月に鷹巣町長選に当選。以来今春の町長選で連続五選を果しました。また三八年から四四年まで二期六年綴子農協組合長でもありました。

出川町長は、財政の健全化を図るため、財産増成に力を注ぎ

林道網の整備と造林、育林事業を推進。教育環境の整備では、七座、坊沢、黒沢、緑ヶ丘の各小学校を統合し、小森、南鷹巣、新田中、掛泥、あけぼの町などの学区を変更するとともに、竜森小、南小、中央小、西小、鷹巣小を建設。社会教育では公民館体育館、室内プール、陸上競技

場、テニスコート、野球場などを整備し、一人一学習の定着を図りました。
また、町民の健康を守るため、四四年に上水道事業を完成させ、以後順次に簡易水道を整備。成人病予防対策として検診制度を充実。各集落にコミュニティセンターを完成。幼児教育の必要性から二幼稚園三保育園を開設するなど、住民生活の安定を図っています。
今回の受章は、これらの功績が認められたものであり、十四日に県正庁で受章伝達式が行われました。

おしらせ



統計調査で表彰

十月二七日秋田市で行われた県統計大会で、鷹巣町が団体で通産大臣表彰（商業統計調査）を受賞。個人では、次の方々が統計功労者知事表彰を受賞しました。

▽藤田久治さん（黒沢）▽会田茂さん（前山）▽小松克己さん（綴子上町）▽松尾喜美さん（元町）

県民手帳が入荷

昭和五九年用秋田県民手帳が入荷しましたので、予約をした方は役場企画係で、代金三百円と引きかえにお受け取りください。

なお、手帳の残部がありますので、予約していない方でもご希望の方はおいでください。

自治医科大学

入学生を募集

自治医科大学では、五九年度入学者（百人）を次の要領で募集しています。

自治医科大学は、各都道府県が共同で設置した医科大学で、入学科、授業料などの修学に要

する費用はすべて貸与となります。（全寮制）

▽受験資格―高校卒および五九年三月卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力があると認められる者

▽願書提出期間―五九年一月六日から一月一三日まで

▽願書提出先―秋田市山王四丁目一番一号 秋田県庁内福祉保健部医務課

▽試験日―①第一次・一月二二日、二三日（県の指定する場所）②第二次・二月七日、八日（自治医科大学）

なお、願書の請求、問い合わせともに県庁内、福祉保健部医務課へ（秋田 六〇―一三六六）

住宅需要実態調査

にご協力ください

建設省では、都道府県、市町村の協力のもとに、十二月一日全国にわたって「昭和五八年住宅需要実態調査」を行うことにしています。

この調査は全国の家庭の皆様が、住宅について日頃どのような考えになっているか、また、住宅の改善についてどのような計画をお持ちになっているかなどを伺うもので、国や地方自治体の住宅対策を進めるうえで、重要な資料となるものです。全国約十萬世帯を対象としていますが、県では約一千世帯に調査

をお願いするとともに同趣旨で、県単独で約五千世帯に調査をお願いすることになっております。十一月二十四日から十二月七日までの間に調査員がお伺いしますので、よろしくご協力をお願いいたします。

建設雇用助成金を

ご利用ください

秋田県建設雇用改善室と職業安定所では、次のような各種の助成制度を準備して、建設事業主の方々の相談に応じておりますので、ご利用ください。

▽技能実習 ▽認定訓練 ▽職業訓練推進 ▽雇用管理研修

▽福利施設整備 ▽健康診断 ▽雇用改善推進事業等の助成金があります。

※くわしいことについては、秋田県建設雇用改善室又は大館公共職業安定所鷹巣出張所（二二―二四〇）へおたずねください。

雇用保険失業給付

を受給する方へ

雇用保険の失業給付制度は、失業した労働者の生活の安定を図るとともに、求職活動を容易にするなど、その就職を促進することにあります。

この制度の趣旨を正しく理解し、正しい申告で受給しましょう。

文化作文に二〇八点応募

西小・永井さんら特選

第十五回鷹巣町文化祭行事の一環として、文化作文の発表と表彰式が行われました。

小学校八七点、中学校二〇点、一般一点の応募があり、表彰式では、中央公民館長から「文化は、辞書で調べるようなかた苦しいものでなく、わたしたちの日常生活の中にある。おじいさんおばあさんから聞いた話の中に、新しい文化の芽をみつめる事もできる。その意味で、何気なく過ごす生活の中から、文化の香りを感じとってほしい」との講評がありました。

特選になられた三人の方が、それぞれ作文を発表し、次の方々が、教育長から、表彰されました。



【特選】▽「ばあさんの子ども」ながいかつこ西小一年▽「農家の昔と今」三沢康平▽綴子小五年▽日本人と木長岐恵津子南中二年

【入選】▽「お米と文化」とうきよひこ鷹小二年▽「水のありがたさ」小林亜紀子西小三年▽「私の文化」成田洋子鷹小五年▽「脱こくの歴史を体験して」高橋晃子東小六年▽「おばあちゃんの苦労」三沢皇子綴子小六年▽「中国の交流と文化の発達」佐藤友紀子中央小六年▽「五義民とお米」戸嶋淳子西小六年

▽「文化を十倍うまく利用する方法」桜庭洋鷹中二年▽「毎日の学習から」間瀬由起江南中二年▽「現代の生活を考える」金沢守鷹中三年▽「村の歴史」松井久美鷹中三年▽「これで良いのか」秋元哲夫一般

【佳作】▽「べんりになった黒沢のどうろ」みやかわまいこ西小一年▽「鷹巣町をこんな町に」石井司徳鷹小二年▽「おじいちゃんに聞いた話」花田明美鷹小二年▽「もし電気がなかったら」成田清子鷹小二年▽「町の歴史」戸島千穂子鷹小三年▽「水の大

切さ」田村幸也鷹小四年▽「ふる里センターの見学」佐藤道子鷹小四年▽「栄橋の歴史」松橋里美東小六年▽「苦労を知らない子供達」佐藤暢浩綴子小六年▽「今の生活で思う」新井慎一綴子小六年▽「大太鼓のある上町」高橋明子綴子小六年▽「糠沢の歴史を聞く」山内久美子綴子小六年▽「深閑の今と昔」津谷朝香西小六年▽「文化というもの」大川憲悦鷹中三年▽「文化の日を考える」福島美穂子鷹中三年▽「昔と今の農業を考える」畠山ひとみ南中三年▽「便利な生活について思う」長岐ひとみ南中三年▽「鷹中祭をふり返って」佐藤隆鷹中三年

フラワーボックスの

土は収納所へ

花いっぱい運動にご協力いただき、ありがとうございます。きれいに花を咲かせた「サルビア」「マリーゴールド」も、今は散り、短かい命を閉じました。花づくりの基本は「土」といわれます。来年のために、大事な土を保管する事にしています。各子供会の世話人を通してお願いしていますが、まだ道路や花だん等にあるフラワーボックスの土を、分館収納所(旧鷹小グラウンド)遊具のある所へ運んでください。

郷土史年表

25

西暦	昭和	年号	事
一九六〇	昭和三五		○坊沢・土地改良事業に着工す。 ○「日本学校安全会」発足す。 ○十月二十日 鷹巣中学校 統計教育の研究(県指定)公開 ○全学連国会乱入 東大生、樺美智子死亡 ○秋田県人口 一三三万五五八〇人(農業人口 七六万七一九〇人) ○十二月二十六日 沢口小学校調理室増築 落成式 ○四月一日 緑ヶ丘小学校五学級となる ○五月二十九日 大暴風のため沢口小学校の屋根はがれる。 ○七月七日 鷹巣小学校、県指定全教科学習指導法の研究を公開す。 ○九月十二日 鷹巣中学校、県指定全教科学習指導法の研究を公開す。 ○十月八日 両階下をお迎えして第十六回国体が秋田市八橋競技場で開会(八日より一三日まで) 鷹巣町はバレーボール会場となる。 ○十月十一日 小三以上の児童生徒、天皇、皇后両陛下を奉迎 ○鷹巣中学校全県花いっぱい運動優秀校となる。 ○十月二十六日、中学二、三年全員に対し、初の全国一斉学力テスト実施、日教組は反対、免職二〇名を含む処分問題が起り裁判問題となる。 ○十一月十五日、栄小学校が準健康優良学校として県教委より表彰される。 ○十二月一日 「坊沢郷土誌」発行

町づくりの ビジョンを語る

文化座談会



教育委員会では文化祭行事の一つとして、十月二十九日、中央公民館において文化座談会を開きました。

メンバーは、高坂KK社長高坂裕司、芸文協監事神成正雄、鷹巣教会幼稚園長河合裕志、文化財保護審議会委員笹原一、教育長中嶋修三、司会中央公民館長 長崎 久

ゆつくり鑑賞できる

文化会館を

司会「町づくりと文化を考える」がテーマです。それぞれのビジョンをお聞かせ下さい。

河合 この町に住んで十一年、和気あいあいのよい町だと思いますが文化施設のおくれがさびしいです。欲しいもの三つあり

ます。音楽や劇をゆつくり鑑賞できる文化会館 独立した図書館、常時観覧できる郷土資料館です。それに休日子供を遊ばせるレジャーランドがあれば更によいです。

神成 絵画クラブ会員は五〇人ですが出入りがはげしいのが悩みです。長つづきさせることが大切で、拠点となる文化施設がほしいです。

ケーブルテレビで

ローカル情報を

高坂 GNPでも文化の占める比重が大きくなりつつあり、七〇年代はハードな時代であったが八〇年代はそれにソフトがプラスされるといわれています。

文化会館を建てる前にそれを

利用する文化人の層を拡大することです。

ケーブルテレビをつけ各家庭に情報を流したり、学習に役立てることが有効で、大きな文化会館を建てるより安くすみますし、ローカル情報が歓迎される時代です。

民族資料館で

祖先の生活を学ぶ

笹原 鷹巣地方の歴史を浅いと思っている人が多いようですが、埋蔵文化財では全県下で光っています。人間は生涯の中で土壇場に立たせられることがあり、それに耐え得る強い心は祖先から受け継がれているものです。

昔の人の生活、ものの考え方を民俗資料館が教えてくれます。公民館分館に整備されつつある資料室は大変有効です。

中嶋 能代、大館の文化会館は十萬都市を構想してのもので、鷹巣の場合はあくまでもこの町に合ったものでなければいけないと思います。

この地域に合ったものとしてソフトな面を伴わせるためには、芸文団体がよく育つように行政としての手助けが必要でしょう。

司会 どうもありがとうございます。それではただいまだされたそれぞれの考えについて、これから意見の交換をします。

(以下 略)

ふるさと 人物伝

(57)

佐藤直四郎

一八七一一一九二五

明治十一年に農豊石川理紀之助によって始められた県種苗交換会は今年、第二〇六回を迎え大館市で開催された。明治時代にこの農事談話会で、当町出身の佐藤直四郎が研究発表し注目されている。

直四郎は明治三年、綴子村小田の佐藤良助の子として生まれ、かしく意志の強い人であった。東京駒場農学校に学び農政学を修め、帰郷後は家業にはげみ、村人を導き、貧しかった小田部落を他の模範部落といわれるまでに育てた。人々におされて村会議員並びに郡会議員になり、村の信用組合や農会創立に大きく

貢献する。

彼は常に「村治百年の大計は山林経営にある」といい、村長村上鶴治をたすけ、自ら山野を歩き調べ、至難といわれていた部落有林野の統一を成功させた。

彼は交際の広い人で、立憲政友会の大養毅・町田忠治と親しく、政治的にも活躍した。当時の佐藤家は水田七町歩、

若勢三人、女中四・五人、馬三頭という大自作農で養蚕も大規模にやっていた。石川理紀之助、斎藤宇一郎など、県下の先覚者の門を叩いては熱心に農業を研究しつづけ、大正三年六月二十四日、四十五歳の若さで急死する。

その年の十一月、土崎港町で開催された県種苗交換会に集まった農業研究同人等は彼の追悼歌会を催し、短冊にしたためたつぎの作品を遺族に送つてよこした。

亡魂をかなしく今日はまつりつのおもへば明日はわが身なりけり

なにとなくこころかなしきとしどしに亡くなる友のおほき上にも

かかりあひしことは心にかび出てなき魂まつる今日ぞかなしき

(資料 綴子郷土読本 孫佐藤陽司氏談) 文責 長崎久





前イラン大使が45年ぶりに

戦前、元町に住んでいた、前駐イラン大使の高橋正太郎さん(62)が、45年ぶりに町を訪れ、あまりの変わりように驚いていました。高橋さんは、父・七之助さん(鷹農教頭)の勤務の関係で来町。昭和10年から3年間能代中に通学。今回は同級生の岩川貢さんの招きで訪れたもので、この八月まで動乱の中近東イラン大使として3年間勤務。中近東と思い出話に花が咲いた。

大食漢のチャンピオンを決める「すし食い大会」が11月1日鷹巣農協で行われました。これは「すしの日」

にちなんで鮭組合鷹巣支部が開催してことしで9回目。女性を含む30人の大食漢が参加。正午の合図で一斉に競技を開始。初めは快調に運ばれていたすしも制限時間の15分になるとタメ息まじり。結局52個食べた菅原喬くんが二年連続優勝を飾りました。

菅原くん「すし」を52個ペロリ



芸達者な婦人芸能祭

町婦人団体連絡協議会では、ことしで4回目の「助け合い婦人芸能祭」を11月30日午前11時から中央公民館で開催。農作業を終えた主婦など約500人が訪れ、熱心にステージをみつめていました。

出演者は1部、2部で34組。「長持唄」や「おしん音頭」などコミカルな踊りや芸に観衆が爆笑。婦人の芸達者ぶりが午後2時半まで披露されました。



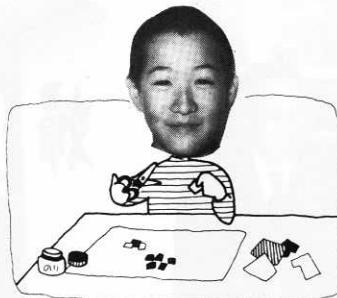
10月21日から3日間、大阪市の長春陸上競技場で開かれた「第三回スペシャルオリンピック全国大会」に

吉野学園から5人が出場しましたが、メダルを8個獲得し、出川町長に喜びの報告をしました。成績は、400mリレーが55.6秒で優勝、100mで菊池昭広くんが14秒で優勝、石川正志くんが400mで二位、中村公則くんが1500mで三位、山田徳彦くんが四位となりました。

スペシャル五輪でメダル8個



の広場



東小学校六年
木村 信智くん



九 島 武 雄(56)

今回のテーマ『郷土の文化遺産』 高齢者がリーダーに

趣味即文化ではないが、地域の人々の趣味による広い活動が、生きがいのある明るい心を培い、それが地域社会の文化的発展にもつながることは言うまでもない。

近年、公民館等で学習しているグループの構成は、同年代、同性のグループが多い。学習内容

からみて、それが必要なことであるが、今後は趣味による、各年齢層を包含したグループを多くすることに力を注いだらどうか。

特に高齢の人達が気軽に一緒になれば、「郷土の文化遺産」の継承にたいへん良い下地ができ、年齢を意識しない明るい日常を過ごしていただけることにもなる。

日本は戦前戦後を通じて、多くの人が豊かな趣味をもつことが困難な時代が長かった。だから、今更趣味でもあるまいという人が多い。

文化活動は若者の特権のような感が深かったのも、このよう

対談 親の意見・子供の意見



ナナカマド
バラ科

山地に生える落葉高木。名前は材が燃えがたく七度かまどに入れてもお燃え残ると言うことから。生長のよい木は実をつけない。切りつめたり、やせ地に植えて老化させるとよい

(南小学校 山 益穂 先生)

ふるさとのみなさんへ

ふるさととは心のかけし

横浜市旭区・児 玉 杉 子(47)



故郷を離れたのは昭和三十二年の暮れ、夫の任地である和歌山へ、そして川崎、横浜と現在に至って居りますが、振り返ってみますと、ふるさとで育った年数を越してしまっていて居るにも拘らず、秋田県人である意識だけは、薄れることなく心の中に段々と定着してゆくのかを感じます。

私が帰省するのは何年に一度なのですが、その時には級友達(栄小学校)が即座にクラス会を何度か開いてくれま

した。皆さんは普段よく集まって居るらしく、当時の先生とも交流をして居られるのにも感心してしまいます。

私は最近帰る数も多くなつて今年八月には主人まで私の集まりに自分から入ったのでした。秋北新聞に執筆を続けて居られる佐藤先生にもおいで頂いて、一同栄小時代の話題に尽きることなく過ごした夏の日を楽しく思い出しています。

これはみな地元の方々の御厚意によるもので、とても嬉しくやはりふるさとならではの味わえない最高の気分です。

主人も同県ですので、郷土の話題は共通してますし、何事も「ふるさととは心のかけし」として、これからも励んでいきたいと思っております。

▼児玉さんは、太田出身で、簡易郵便局・長谷川啓司氏の長女です。



東小学校六年
日下部公美さん



みんな

な背景のもとに生まれた状態であらう。
これからは、高齢者が文化活動のリーダーになるような時代をつくり上げたいものである。

生活の工夫も文化



大 堤
三 沢 甲江 (35)

何となしに使う「文化」ということばのもつ意味を、めったに開けた事の無い辞典をひもいてみました。

「文化とは技術が進み生活が便利になる事。そして進歩向上をはかる人間のいとなみによって作り出されたもの(学問、芸術)などのことを意味する」と書か

食物繊維

最近ダイエ
タリー・ファ



イバーという言葉をよく耳にしますが、これは食物繊維のことです。

食物繊維は便秘解消ばかりでなく、大腸ガンの予防になると言われています。それは、大腸ガンには腸内細菌が関係しているのではないか、という考えがあります。動物性食品の多い食

れていた。

私の子供の頃から比べれば、文化的生活の象徴ともいえる、テレビや車は各家庭に二〜三台はあり、ほとんど電化された生活は豊かになり文化的で便利な生活を送っている。しかしそれでも心も満ちたりて安らいだかといえそうとも言いきれない。

文化的生活という名におぼれる事なく家庭に於ても、使い捨てだけの時代は、終わりにしたいもの。流行遅れのすその広いパンタロンも、リフォームなどによって今ハヤリのパンツルックに変身させる喜びも、また粹なものと思うこの頃です。

長野の片田舎に生を受け、縁あって鷹果の人となった私ですが、文化祭行事の一環としての若妻食堂を通じて、ふれあいの文化を持てた事を幸いに思います。

事をしていると、腸内細菌が発ガン物質を作るのではないか、とみられているからです。

食物繊維を多くとると食物が大腸を通過する時間が短いため、大腸壁に発ガン物質が接触する機会が少なくなり、排せつしてしまおうと言われます。

秋風とともに、ホウレンソウ、シュンギク、ハクサイ、ゴボウ……と、繊維を豊富に含む野菜が出まわってきました。毎日の献立に上手にとり入れ、寒い季節を健康に過ごしましょう。

昭和40年頃の米代町通り。当時から商店が軒を並べて繁華街を形成。プラタナスやヤナギの緑豊かな街路樹が目立っています。現在は、商店もアーケードや高層建築で近代化され、車の往来も頻繁で活気づいています。

(写真提供は太田・松尾重行氏)



たかのすの昔

おしらせ

保健相談室です。

◆ ◆ ◆
離乳食実習指導は、一七日

五八年四月生れとなっています。
受付時間は、午前九時半から一〇時まで、乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◆ ◆ ◆

乳児健康診査は、一七日五八年七月生まれとなっています。
受付時間は、午後一時から一時半まで。
※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

インフルエンザの

予防接種

インフルエンザの予防接種を行いますので希望者は受けてください。

幼児（保育園、幼稚園に入所していない幼児）、一般成人の方を対象とします。

接種希望者は、個人負担料金（幼児三百円、一般成人六百円）を納入の上接種券の交付を受けてください。

交付期間は十一月十五日から二二日まで、保険衛生課衛生係へ（☎二二一一一内線一三三三、幼児の場合は母子手帳持参）、電話申し込みもできます。この場合は接種当日会場で料金を納入してください。

接種日は次のとおりです。
▽一回目＝鷹巣地区以外の方

一月二九日、鷹巣地区三十日

▽二回目＝鷹巣地区以外の方十二月二十日、鷹巣地区二二日
時間は午後一時から二時まで
場所は中央公民館ホールで行います。

三種混合ワクチンの

予防接種

生後二四ヵ月から四八ヵ月（五四年十一月二日から五六年十一月二日）までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種は、鷹巣地区以外の方は十一月二二日、鷹巣地区の方は二二日に行います。

受付時間は、午後一時から二時半まで、場所は中央公民館ホールです。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

青年海外協力者を

募集しています

県では、開発途上にある国々に対して技術、技能を指導し、国づくりに協力する隊員を募集しています。

▽資格＝満二〇歳以上三五歳までの男女

▽派遣期間＝二年

▽業種＝農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ等

▽申込み＝十一月三〇日まで。

善意

秋田県農政普及教育課海外担当（秋田市山王四丁目一八）秋田六〇一（四九五）

▽峰浜村＝大森七五郎さんから四千三百二十円

▽鷹巣教会幼稚園保護者会（会長・加藤美津）から、チャリティーバザの収益金として三万円

▽鷹巣地区婦人団体連絡協議会（会長・中嶋喜代）から、第四回助け合い婦人芸能祭の収益金の一部として一万円
社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽新屋敷＝長崎聖悦さんから亡父慶市さんの香典返し
▽緑ヶ丘＝津谷雄一さんから亡父義雄さんの香典返し



10月16日～10月31日

誕生おめでとうございます

岩本 豊（操 三男）南鷹巣

丹 美穂子寛美 長女・今泉
久留嶋麻衣（和美 二女）あけぼの
工藤 恵子（正雄 二女）田中
佐々木祐輔寛 二男・伊勢町
大川 友美（彰 二女）高野尻
佐藤 智之隆夫 長男・高野尻
柏木美華子清一 長女・舟場
畠山 憲昭（昭夫 二男）元町
二人の前途を祝福いたします

成 田 実 新田中
長 崎 ひろ子 大館市
畠 山 敏彦 向黒沢
立 山 由美子 大館市
細 田 専作 新田中
柴 田 郁子 合川町
畠 山 次夫 与助岱
岩 谷 ゆかり 材木町
堀 井 兼雄 下町
小 平 鏡子 田代町
畠 山 善一 二本杉
藤 島 竹子 二ツ井町

おくやみ申しあげます

佐藤 秀男（70歳）田子ヶ沢
藤岡 長八（71歳）太田
木村 哲治（80歳）米代町
渡辺 ちよえ（72歳）田中
堀部 ミヨ（77歳）葛黒
小野 イツ（84歳）材木町
照内 忠吉（96歳）向黒沢
畠山 雄作（56歳）材木町
花田 松三郎（91歳）脇神
佐藤 和一（67歳）坊山
成田 林一郎（65歳）今泉
福岡 末三郎（81歳）舟見町